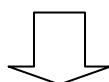


## 平成 30 年度 在宅医療・介護連携推進事業 多職種連携研修会「ケア・カフェ」開催経緯

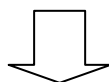
## 【平成 29 年度の評価】

- ・埼玉県立大学との協同研究により、土曜日午後 2 回実施。事例検討による多職種連携必要性の検討や相互理解、顔の見える関係づくりを目的とした。
- ・アンケートによる企画に関する改善点として、「市全体ではなく、圏域を分けた実施がよい」「あらかじめ設定された答え「連携は大事だ」、「見える化が重要だ」に向かわされたような気分」「冬場は忙しいので夏場が良い」等の指摘があった。
- ・事務局として、研修会の運営には市・医師会事務局だけでは困難であること、ニーズに合ったテーマを設定する必要があることを検討。



## 【平成 30 年度の企画】

- ・5 月 10 日 市担当者と三郷市在宅医療・介護連携サポートセンターにて、企画検討実施。複数の開催方式から現時点の三郷市の開催方法として相応しい方式を検討。
- ・旭川医科大学の阿部恭之先生が 2012 年に立ち上げた、医療者・介護者・福祉者のための「ケア・カフェ」が最適であると結論。
- ・北部、中央、南部の 3 圏域に分け、冬季までの間に公共施設にて開催することとした。また、土日ではなく週末夜間の開催とした。（医師会在宅医療部会にて承認）



## 【委員への周知】

- ・南部検討部会（5 月 30 日）、北部検討部会（5 月 31 日）にて、ケア・カフェ開催について案を提示。
- ・北部検討部会にて、薬剤師会の海老原委員より協力の申し出あり。その後の薬剤師会との打合せにより、今年度は試行開催として開催し、次年度の本格開催を目指すことの結論。

## 【今年度の開催】

日時 18:30~20:00	自己 PR 担当		場所 (施設定員)
7/13 (金)	薬剤師会	訪問看護ステーション連絡会	鷹野文化センター 会議室 (40 人)
9/14 (金)	歯科医師会	リハビリテーション連絡協議会	瑞沼市民センター 多目的室 (50 人)
10/12 (金)	医師会	介護支援専門員連絡協議会	旧保健センター 会議室 (80 人)

## 【今後の展望】

- ・実行委員会の立上げと運営協力。

# 医療者・介護者・福祉者のための ケア☪カフェ®

## 【メリット・比較】

### <従来の講演会・研修会>

- ・得られる知識は講師のもっている情報や考え方に限られる。
- ・話された情報のごく一部しか頭に残らない。
- ・聞きたいことがあっても聞けない。
- ・現場の問題解決には繋がりにくい。
- ・新しい意見や未来への動きは起こりにくい。
- ・参加者間の繋がりは生まれない。

### <ケア・カフェの利点>

- ・多くの情報や様々な考え方を知ることができる。
- ・多くの知識が身に付く。
- ・どんなことでも聞きやすい雰囲気がある。
- ・「今」困っていることの解決につながる。
- ・新たな発見・未来へ向けた取り組みが創造される。
- ・顔の見える関係がつけられる。

三郷市オリジナル  
 始めに専門職のPRタイムを設定。  
 多職種に自職の強み、連携における  
 視点等のPRを5分間で実施。

